

各 位

2019年8月26日

会 社 名 株式会社メガチップス
本 社 大阪市淀川区宮原一丁目1-1
代 表 者 名 代表取締役社長 肥川 哲士
(コード番号 6875 東証第一部)

メガチップスが、パナソニックが開発するIEEE 1901a準拠「IoT PLC」IPコアを採用

記

この度、当社は、需要の高まるIoT (Internet of Things) インフラ向け有線通信ソリューションの提供を一層推進する事を目的に、パナソニック株式会社（本社：大阪府門真市、以下「パナソニック」という）が開発する国際標準通信規格、IEEE 1901a準拠「IoT PLC」IPコアを採用しましたのでお知らせいたします。

「IoT PLC」は、産業用分野で採用が進む「HD-PLC」^(注1)を基盤とした新しいIEEEの広帯域電力線通信規格の通称で、周波数帯域を利用状況に応じて制御することにより、通信距離の拡張および通信速度を切り替える機能を持つスケーラブルな通信を特長とします。通信距離の拡張は「HD-PLC」標準モードと比較して約2倍、物理速度は最大で約500Mbps（海外電力線通信時）まで拡張できます。通信速度のモードを切り換えることにより、ユーザー毎のニーズにも柔軟に対応することができ、くらしのあらゆる場面で「HD-PLC」の活用が期待できます。

当社通信インフラ事業部長の小西正洋は次のように述べています。

「当社が業界に先駆けて「IoT PLC」を採用し、パナソニックとの協力関係を一層深める事を喜ばしく思います。当社はHD-PLCアライアンス^(注2)への参画を通じ、先進的な通信インフラの構築に貢献して参りました。「HD-PLC」をさらに進化させた「IoT PLC」は、アプリケーションに応じた通信速度と距離の最適化が可能であり、単一のソリューションで多様なニーズに応じた通信手段を提供できるという点で非常に有望な技術です。このIPコアは、「HD-PLC」の採用が進む産業分野だけでなく、ネットワーク家電を始めとしたホームオートメーションにも適用が期待されています。」

メガチップスは、今後とも有線通信分野における技術革新と専用LSIの提供を通じて、通信インフラ分野における期待に応えて参ります。

当社とパナソニックは「HD-PLC」の普及促進を通じて、社会インフラ通信の高速化・省配線化を推進しています。「HD-PLC」は電力線を始めとしたメタル配線において高速・安定した通信を実現する事を目的に最適化された通信技術で、ビルオートメーション、スマートグリッド分野で普及が進んでいます。

メガチップスについて

メガチップスは、日本で最初の「システムLSIのファブレスメーカー」として1990年に創業以来、研究開発に特化して独自技術を磨き独創的なLSIを開発してきました。急速な情報技術革新による市場ニーズが複雑化する中、独自のアナログデジタル/MEMS技術を駆使したIC、SOC及びMEMSタイミングデバイスを、設計から開発、生産までトータルソリューションでグローバルに提供しています。

<https://www.megachips.co.jp/>

パナソニックについて

パナソニック株式会社は、家庭用電化製品、住宅、自動車、B2Bビジネスの顧客向けに、多様なエレクトロニクス技術とソリューションを開発・提供している企業です。

<https://www.panasonic.com/jp/home.html>

(注1)：「HD-PLC」：パナソニックが提唱する高速電力線通信方式の名称で、日本及びその他の国での登録商標もしくは商標です。なお、PLCはPower Line Communicationの略称です。

(注2)：高速電力線通信「HD-PLC」の普及拡大・通信互換性確保を目的として、2007年9月25日に設立

ホームページ：<http://www.hd-plc.org/>

【製品に関するお問い合わせ】

株式会社メガチップス
営業統括部第1営業部営業2課 井入（東京）
TEL 03-3512-5080（代表）

【報道関係、IR関係】

株式会社メガチップス
財務統括部 広報部
TEL 06-6399-2884（代表）

以上